

第4号

荒川印刷株式会社

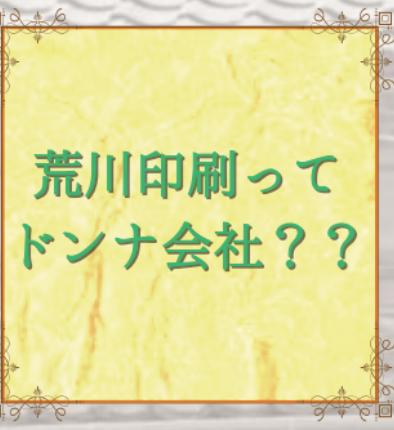
あらかわくりっぷ



あらかわ情報発信局！

GO!!

- 荒川印刷ってドンナ会社？？
- 荒川印刷のお勧め商品
- 印刷の不思議
- 社員のオススメ情報 & 社員紹介



今年で創業78年を迎える歴史ある会社です

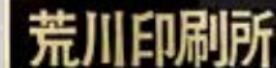
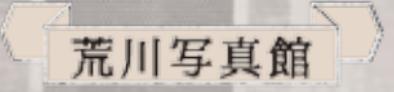
府庁前の通りを一筋下がった梶木町通りに佇む弊社は、昭和10年10月に「荒川印刷所」としてスタート。

その後、昭和59年5月に「荒川印刷株式会社」を設立しました。

現在では、印刷はもちろん、グッズやノベルティの製作、Web制作、のぼりや看板の製作・設置等あらゆるニーズにお応えしています。かゆいところに手が届く商品づくりや粋なデザイン、気の利いた企画も積極的に提案させて頂きます。

「ありそうでなかったもの」、「できそうでできなかつたこと」などなんのことでも荒川印刷へお気軽にお問合せ下さい!!

※背景写真は、荒川印刷所当時の社屋外観です。



前身である、荒川印刷所の看板。



会員の証

京都印刷同業組合会員之證。
創業者荒川佐右衛門と表記されています。



御用達札

伏見稻荷大社 御用達会員。
音羽山清水寺 御用達会員。

柱

現社屋が建つ前にあった蔵の柱。
歴史を感じさせますね~。

活版印刷 特別公開!! 工場潜入りポート

GO!! ATTENTION

今はオフセット印刷が主流ですが、昔の印刷物はハンコの原理と同じような活版印刷機で刷っていたんですよ!

活版印刷 手順密着!!

版をセットします。

エアー(空気)を使って紙を吸い上げます。

刮目せよ!!

とりあえず見た目がカッコいい!
ドイツ生まれの活版印刷機!

印刷されたものはここに積まれていきます。

編集スタッフも活字に触ってみました!

すこく小さい(汗)

押しやインキの乗り、活字独特の風合いを楽しめる活版印刷、ミシン入れとしても使用でき、既に50年選手ながらもまだまだニーズに応じて大切に稼働させております。

●第3号でわが社の活版印刷機をご紹介しましたので、今回は実際の印刷物を本体の帯として付けてみました。

【印刷の不思議】Q2. RGBとCMYKの違い

第4号ではRGBとCMYKの違いについて説明します。

RGB（光の3原色）

- ・色を重ねるにつれ、色が白くなる（加法混色）
- ・RGBは自ら発光する
- ・PCやTVに映される映像・画像、デジカメで撮影した画像データなど



近い将来にはRGBでそのまま印刷に使用できるのが普通になるかもしれません、現状ではCMYKに変換しています。RGBとCMYKでは色再現域が違うので、PCやデジカメの画像と比べると色の違いがどうしても出ます。モニタで見る蛍光色のような鮮やかなグリーンはCMYKでは表現できません。写真やキャラクター物等を印刷する場合に、色校正が重要なのはこういう理由からです。

CMY（色の3原色）+K

- ・色を重ねるにつれ、色が黒くなる（減法混色）
- ・印刷物は全てCMYK
- ・色の3原色を混ぜただけでは綺麗な黒にならないので、Kが足され、CMYKとなり、「プロセスカラー」と呼びます。



（次回）

社員のオススメ情報 & 社員紹介

誕生日……12月8日
干支……子年
在住……京都市
好きな言葉…「Viva la Viba!」（生命万歳）

はじめまして、拙者印刷のオペレーターの長谷川と申します。

いつも精一杯でがんばっております。

ところで最近、着物を着てはる人を見かけますが、この頃では、普段の日でも着物を着ている若い女性をよく見かけますよね。大学の卒業式なんかは袴姿が定番になっていて、レンタル着物の業者が決まっているみたいです。かくゆう拙者も着物が大好きで、着物をもっています。（ゆかたではないですよ～）



最近の人の着方が自由でいいです。

明治のハイカラさんみたいに和と洋を組み合わせてうまく着たはりますです。誰に教わったわけでもないのです。

もっともっと着物を着ている女性や男性が増えるとうれしいです。

そうすれば日本はもっと魅力のある国になるかも・・・（壮大やなあ）

てなもんで、拙者は江戸時代にタイムスリップしたいもんです。妄想だーっ！（笑）

荒川印刷のお勧め商品

和紙ファイル



今回は突然ですが、弊社で取り扱っている商品をご紹介したいと思います。印刷物以外の商品もぜひ知ってもらいたい!!という熱い思いでこの記事を書きました!!

今回はその中でもイチ押し商品をご紹介します。

皆さん仕事、プライベートetc…紙類をまとめるのにクリアファイルは欠かせませんよね。普段何気なく使用しているクリアファイルも素材や柄を変えると、驚くほどイメージが変わります。そう、ご紹介したいのは……

「和紙ファイル」です。
国内初の和紙を使用したファイルで、国産の間伐竹を原料にした環境にやさしいエコロジー商品です。レトロな雰囲気で、手触りに味があります。
普通用紙に比べて黄ばみ・劣化が少

ない為、長期保存に向いています。そしてこの和紙ファイル最大の魅力は、スピードとロット数です。製品和紙ファイルにインクジェットプリンタで印刷できることから、後加工が必要なくすぐに使用できます。小ロットで作成できるので、アイディア次第で様々な業種の方にお勧めできます!!企画書や見積書をこの和紙ファイルに入れてお客様にお渡し頂くと「オッ!」と驚かれること間違いなし!な商品です。

また、オフセット印刷による別注和紙ファイルも1000枚から承ります。お子様の写真で制作すれば、思い出の場面も色褪せない、世界に1つだけのオリジナル和紙ファイルができます。もし少しでも気になることがあれば担当させていただいている営業にお声掛け下さい!

思い出の場面をその場で印刷!

是非オリジナルの一品を!



編集後記

秦

私にとってはあらかわくりっぷは第2号目。前回よりも少し気持ちに余裕を持って取り組めました。これからも興味を持ってもらえる記事作りを目指します。

小林

前号に引き続き、今回は実際の活版印刷物を紹介しました。皆様にも活版の魅力を手に取って感じて頂ければと思います。記事に取り組むことをきっかけに、私自身も興味を持ち始め、今後も活版印刷をいろんなキーワードで紹介していくようになります。

武田

前回に引き続き印刷の不思議を担当しました。RGBとCMYK、耳にはしますが違いを見る機会は少ないですよね。色の再現領域に差があるので違いがあるなんて、普通に生活していたらわからないです（笑）雑学の一つとして楽しんで読んでいただければ幸いです。

赤倉

当社が創業して78年・・・78年前なんて想像もできませんが、写真を通してほんやりとですがいろいろ感じる事ができました。印刷業界は社会の発展と共に目まぐるしく変わっていくかもしれません、昔からの印刷技法、印刷に対する思いを大切にしていきたいですね。

ちょこっと

役に立つ！まめ知識のつ～ナ～

第180回国会で「郵政民営化法等の一部を改正する等の法律」案が可決・成立し、2012年（平成24年）10月1日から郵便事業株式会社と郵便局株式会社が統合され、日本郵便株式会社となりました。

これに伴い、郵便の拠点の一部では、「〇〇支店→〇〇郵便局」ないしは「〇〇郵便局郵便分室」・「〇〇郵便局集配分室」というように名称が変更されている所もあるそうです。

※名称の変更については、各々の郵便局にお問い合わせください。

※日本郵政株式会社HP参照および郵便局お客様サービス相談センターにて確認



荒川印刷株式会社

京都市上京区桜木町通堀川東入 〒602-8036

TEL(075)231-0889 FAX(075)211-5883 <http://www.a-pri.co.jp/>

あらかわくりっぷ 第4号 2013年3月21日 発行